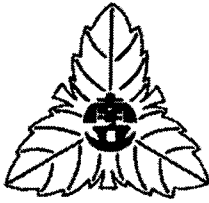


令和7年 4 月



令和7年度 学校経営方針

練馬区立南が丘小学校長 江原幸一

1 学校経営の基本理念

「あいさつあふれる、笑顔かがやく学校」

「子どもたち一人一人の人権や個性が尊重され、大切にされる学校」

2 学校教育目標

けやきの子

◎「かしこく」

- ・自分の思いや考えをもって学び合える子
- ・自ら課題を見つけ、主体的に解決できる子

「やさしく」

- ・自他の生命を尊重し、互いの違いやよさを認め合える子
- ・相手の立場に立って考え、思いやりのある子

「たくましく」

- ・いろいろな運動に親しみ、すすんで体を鍛える子
- ・失敗を恐れず、最後まであきらめずやり遂げる子

3 学校経営方針(6 点)

(1) 人権教育並びに豊かな人間性の教育を推進する

教職員一人一人の人権感覚を豊かにするとともに全教育活動を通して人権教育を推進し、児童が安心できる居場所と活躍の場を与え自尊感情や自己肯定感を育む。いじめや不登校・児童虐待(ヤングケアラー含む)等の問題の未然防止・早期発見に努める。

(2) 毎日の授業を充実させ、子供たちに学ぶ喜びを実感させる

子供たちが「できた」「分かった」と実感できる授業を目指す。「教師は授業で勝負する」ことを旨として、ねらいを明確にし、見通しと振り返りを大切にした授業を実践する。基礎学力を向上させるため、校内研究の推進を中心として教師自身の授業力向上に努める。ICT機器を適切に活用するとともに、学習の成果を的確にとらえた指導と評価の一体化を図る。

(3) 個に応じた支援と指導の充実

子供たち一人一人の個性や特性を的確にとらえ、学年・専科等と指導上必要な情報を適切に共有し、個に応じた支援と指導を充実させる。また、学年内教科担当制を取り入れ、指導の効率化と児童理解促進を図る。特別支援教育並びに校内委員会を充実させ、通級指導(情緒障害・難聴言語)を個に応じて適切に活用する。

(4) 働き方改革の推進

「ライフ・ワーク・バランス」を見直し、私生活と仕事の調和や時間的な効率の向上に着目して日々の職務に当たるようにする。校務支援システムの活用による業務の効率化を図るとともに会議の精選を図り、会議回数削減、時間の短縮を目指す。一方、職員間のコミュニケーションを活発にとることで互いの風通しを良くし、気持ちよく働ける職場を目指す。